

| | | |
|--|-------|-----|
| 科目名称： | 日本事情Ⅳ | |
| 担当者名： | 王 玉 | |
| 区分 | 授業形態 | 単位数 |
| 留学生別科に関する科目 | 講義 | 2 |
| 授業の目的・テーマ | | |
| この授業は、初めて来日する留学生に日本社会や日本文化、生活習慣などの基礎知識を習得させ、日本での生活と学習がスムーズに進むよう支援することを目的としている。 | | |
| 授業の達成目標・到達目標 | | |
| 1) 日本の生活様式を理解できた。 2) 日本文化を理解できた。 3) 日本での学習に必要な知識（制度、施設、習慣など）を身に付けた。 4) 日常よく使われる挨拶語・その応答が基本的にできた。 5) 簡単な新聞記事や通達文章などの読解ができた。 | | |

| 留学生別科 | ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針） | 重点項目 |
|-------|---|------|
| DP(1) | 建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。 | ○ |
| DP(2) | 優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。 | |
| DP(3) | 多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。 | |
| DP(4) | 学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。 | |

| 評価方法/ディプロマポリシー | 定期試験 | クイズ 小テスト | 提出課題 (レポート含む) | その他 | 合計 |
|----------------|------|-------------|------------------|-----|-----|
| 全学DP(1) | | | 80 | 20 | 100 |
| 全学DP(2) | | | | | 0 |
| 全学DP(3) | | | | | 0 |
| 全学DP(4) | | | | | 0 |
| | | | | | 100 |

| 実務経験のある教員の担当 | 担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載） | |
|--------------|--------------------------|---------|
| なし | 《内容1》 | 《経験年数1》 |
| | 《内容2》 | 《経験年数2》 |
| | 《内容3》 | 《経験年数3》 |
| | 《内容4》 | 《経験年数4》 |

| |
|----|
| 備考 |
| |

| 到達目標ルーブリック | すばらしい | とてもよい | よい | 要努力 |
|----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 日本に留学にきて、日本文化、日本人の考え方と生活習慣が理解できる | 日本文化、日本人の考え方と生活習慣に対する理解が深まっている | 日本文化、日本人の考え方と生活習慣に対する理解がだいたいできている | 日本文化、日本人の考え方と生活習慣がある程度理解できる | 日本文化、日本人の考え方と生活習慣への理解はしない |
| 日本語の読み解く能力が半年前より上達する | 日本語の読み解く能力がだいぶ上達している | 日本語の読み解く能力ある程度上達している | 日本語の読み解く能力がちょっとだけ上達した。 | 日本語の読み解く能力が上達していない。 |
| | | | | |
| | | | | |

| 授業の内容・計画 | 事前事後学修の内容 | 事前事後学修時間(分) |
|--------------------------------------|-------------------------------|-------------|
| 第1回 実りの秋と祭り | 石川県の祭り3・読解1(同上)読解2(同上) | 60分 |
| 第2回 日本の食文化/ 緊急対策についてII | 秋の食・読解1(同上)読解2(同上) | 60分 |
| 第3回 建前・本音など | 時事読解・スポーツ・読解1(同上)読解2(同上) | 60分 |
| 第4回 日本人のライフスタイル(3) | レジャー・読解1(同上)読解2(同上) | 60分 |
| 第5回 伝統行事(2) / 「日本の心」(3) | 文化的なイベントなど・読解1(同上)読解2(同上) | 60分 |
| 第6回 神と祭り日本人II | 動物・時事読解・読解1(同上)読解2(同上) | 60分 |
| 第7回 日本の主な観光地とその歴史文化(2) | 日本の世界遺産について・読解1(同上)読解2(同上) | 60分 |
| 第8回 日本社会のシステムII | 日本の自治体・読解1(同上)読解2(同上) | 60分 |
| 第9回 グループワーク：留学生からみた北陸・金沢 | 北陸地域・金沢・歴史文化について | 60分 |
| 第10回 マナーとタブー(2) (ホームステイに向けて) | ホームステイのマナーについて・読解1(同上)読解2(同上) | 60分 |
| 第11回 日本の主な観光地とその歴史文化(3) | 日本の都会と農村・読解1(同上)読解2(同上) | 60分 |
| 第12回 伝統行事(3) / 「日本の心」(4) | 正月・読解1(同上)読解2(同上) | 60分 |
| 第13回 日本人のライフスタイル(4) | 日本の学校事情1・読解1(同上)読解2(同上) | 60分 |
| 第14回 昔話・伝説と動物について | 日本の童話・読解1(同上)読解2(同上) | 60分 |
| 第15回 グループワークで来日してきた見聞を日本語でまとめる。・レポート | 総合まとめ・練習 | 60分 |

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業への積極的関与(20%)・課題レポート(80%)を合せて総合評価します。

課題に対するフィードバック

回収した課題を点検・添削し、次回の授業で個人に返却し、共通した問題点を説明したり、全体の分析をしたりして理解を深めさせる。

教科書・参考書

毎回プリントを配付する。
準備学習時間：60分